

# 2025年度（令和7年度）事業計画書

## <事業計画策定の前提>

2025年度の事業計画書および予算計画は、博物館の開館日について、前年度までの水曜日～日曜日が、新年度からは月曜日～金曜日に変更になること。また、開館時間については、前年度の10:00～17:00が、新年度からは10:00～16:30に変更になることなどを踏まえ、人員等の配置・業務分担や内容等を含め、事業の実施形態が前年度と異なることにより、その対応が求められることになる。さらに、来場者等の感染症対策や安全対策に取り組みながら、積極的に事業を進めることになる。

## <基本方針>

1. 博物館の展示内容や方法等を見直し、博物館のさらなる知名度向上を図る。
2. イベント、セミナー等の開催に係る職員の負担を軽減し、業務等の効率化を図る。
3. 人材育成のための事業（奨学金、育英及び研究助成）を拡充し、さらなる社会貢献を図る。

### 公1 木材や合板等に関する資料等の収集及び展示・公開

- (ア) 書籍、雑誌等の収集分類
- (イ) 展示について、配置・内容・方法の見直し
- (ウ) ホームページの一部見直し
- (エ) ベニアレース等の展示関連機器類の保守・点検
- (オ) 4階の配置等（機器類を含め、配置や整理等を行い、安全性等の向上を図る）の検討

### 公2 木材や合板等の有効利用及び需要拡大等に資する情報の普及活動、及び自然環境教育事業

- (ア) 定期情報誌「PLY（ぶらい）」の編集発行（年2回発行）
- (イ) 2025年「合板の日」記念式典（11月7日開催予定）の実施
- (ウ) 小学校、専門学校、大学、企業等の団体見学の受入れ
- (エ) 合板産業等のアーカイブ作成の検討
- (オ) 江東区木材関連企業等との情報交換の実施
- (カ) ワークショップ（いつでも工作、夏休み木工教室 等）の実施
- (キ) 館外イベントへの出展・参加（JKフェア、深川ウッドフェス）
- (ク) 木材等に関するセミナー等の共同開催の実施

### 公3 奨学・育英及び助成事業

- (ア) 奨学・育英事業（給付型）

- ①応募者：江東区及びそれ以外の東京都区内に在籍する高校生で、経済的理由等により就学が困難で、所属する学校長の推薦を受けた者。
- ②募集人数：50名（昨年16名：360,000円/人）
- ③給付額：240,000円/人、または120,000円/人

(イ) 研究助成事業（給付型）

- ①応募者：35歳以下で大学・大学院に在籍し、日本木材学会、日本木材加工技術協会、木質構造研究会、日本建築学会など木材関連の学協会の学生会員または正会員である者。
- ②募集人数：4名（昨年4名）
- ③給付額：600,000円／人

**収1 ウッドマスター講習会**

- ①基礎講座（Web講座）年2回開催  
木材関連業界の新入社員及び若手社員を対象とした木材・木質材料関連の基礎講座
- ②中級講座（合板関連中級講座：Web講座）年1回開催  
木材関連業界の中堅社員を対象としたレベルアップ研修

**収2 物品販売**

- ①ミュージアムショップの商品販売の見直しと拡充